

初等・中等・高等教育関係者向け
講演会・鼎談



佐藤 郡衛氏

公益財団法人国際文化フォーラム理事長
独立行政法人国際交流基金日本語国際センター所長

當作 靖彦氏

カリフォルニア大学サンディエゴ校名誉教授
元全米日本語教育学会（AATJ）会長



©中西祐介

宮嶋 泰子

公益財団法人かめのり財団理事長
一般社団法人カルティベータ代表理事



無料

ハイブリッド開催 対面開催 + オンライン配信

2025年8月18日(月)

開場 13時30分 講演会 14時～17時15分 懇親会 17時20分～

※会場参加者のみ対象

会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

オンライン：Zoomによる配信

定員：会場 60 名 オンライン 150 名（先着順）

対象：初等・中等・高等教育関係者

参加費：無料（講演会・懇親会）

主催：公益財団法人 かめのり財団



講演会HP

学校・地域で育む、 未来を担う地球市民

地球と日本の未来を見据え、
教育者にこれから求められる視点とは



かめのり財団

Kamenori

学校・地域で育む、 未来を担う地球市民

～地球と日本の未来を見据え、教育者にこれから求められる視点とは～

2025年8月18日(月)

開場 13時30分 講演会 14時～17時15分 懇親会 17時20分～

※会場参加者のみ対象

無料

予測不可能な世界情勢と日本国内の多文化・多国籍化、目まぐるしく変化していく現代社会においてこどもたちの未来を考え、教員はどのようなマインドセットを持って子どもたちと関わり、導いていけるのかを言語学、教育学の専門家とともに考えていきます。

実施方法 **対面開催** + **オンライン配信**
会場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）
東京都千代田区九段北 4-2-25
オンライン Zoom による配信
定員 会場 60 名 オンライン 150 名（先着順）
対象 初等・中等・高等教育関係者
参加費 無料
主催 公益財団法人かめのり財団
内容

第1部 講演 「日本の教育の『当たり前』を問い直す
— 多文化化する教育のビジョンとは —」
佐藤 郡衛氏

「つながる教育：激動の時代、不動の理念」
當作 靖彦氏

第2部 鼎談 「これから求められる教育とは ～OECD が掲げる学びの
コンパス LEARNING COMPAS 2030 その中間年に現状から考える～」
佐藤 郡衛氏 當作 靖彦氏 宮嶋 泰子

懇親会 会場参加者のみ対象 参加費無料



お申込み 講演会HPより申込みください。
<https://www.kamenori.jp/kamenorilecture2025/>

佐藤 郡衛（さとう ぐんえい）

福島県生まれ。教育学者。東京学芸大学教授、同大理事・副学長、目白大学学長、明治大学特任教授などを経て、現在、公益財団法人国際文化フォーラム理事長、国際交流基金日本語国際センター所長、東京学芸大学名誉教授、目白大学名誉教授、東京学芸大学在職中の1980年代から多様な文化的背景をもつ子どもの教育に関心をもち、調査研究を行ってきた。特に、東京学芸大学附属国際中等教育学校の創設にかかわる。また、日本の教育の多国籍化・多民族化・多文化化の中で新たな教育のあり方を研究、政策、実践面から提案してきた。近年は、多様な背景を持った若い世代が希望を持って生きていくための交流活動などを支援している。

〈主な著書〉

『子どもの日本語教育を問い直す—外国につながる子どもたちの学びを支えるために』（共著、明石書店、2024年）、『異文化間教育事典』（編集代表、明石書店、2022年）、『海外で学ぶ子どもの教育—日本人学校、補習授業校の新たな挑戦』（共著、明石書店、2020年）、『多文化社会に生きる子どもの教育—外国人の子ども、海外で学ぶ子どもの現状と課題』（明石書店、2019年）、『聞いてみました！日本にくらす外国人（全5巻）』（監修、ポプラ社、2018年）、『文化間移動をする子どもたちの学び—教育コミュニティの創造に向けて』（共編著、ひつじ書房、2009年）他

當作 靖彦（とうさく やすひこ）

カリフォルニア大学サンディエゴ校（UC San Diego）大学院修了。言語学博士。現在は同校グローバル政策・戦略大学院（GPS）名誉教授。専門は第二言語習得理論、言語教育理論、外国語教授法。日本語教育および外国語教育の数々の要職を歴任。アメリカ外国語教育ナショナルスタンダード理事会日本語代表理事、コンピュータと日本語教育学会会長、AP日本語・日本文化プログラム開発委員会初代委員長、日本外国語教育推進機構（JACTFL）理事、日本語教育学会理事、米国日本語教育学会（ATJ）会長、全米日本語教育学会（AATJ）会長などを務める。外国語教育、日本語教育に関する著書多数。2015年、第13回日本語教育学会賞、2021年、全米日本語教育学会 Lifelong Achievement Award、2022年に文化庁長官賞を受賞。

宮嶋 泰子（みやじま やすこ）

富山県生まれ。テレビ朝日にアナウンサーとして入社後、スポーツキャスターとして仕事をする傍ら、スポーツ中継の実況やリポート、さらにはニュースステーションや報道ステーションのスポーツディレクター兼リポーターとしてとして自ら企画を制作し続けてきた。43年間にわたり貫して、勝敗のみにとらわれることなくスポーツ社会学の視点をベースとしたスポーツの意味や価値を考え続けてきた。NPO バレーボール・モントリオール会理事として、日本に定住する難民を対象としたスポーツイベントを10年以上にわたり開催、さらには女性スポーツの勉強会を定期的に行い、2018年度内閣府男女共同参画特別賞を受賞。2016年には日本オリンピック委員会からの「女性スポーツ賞」を受賞。文部科学省中央教育審議会スポーツ青少年分科会委員、日本バレーボール協会理事などを歴任。日本女子体育大学招聘教授、日本青少年教育機構評議員などを務める。2020年1月末日にテレビ朝日を退社、一般社団法人カルティベータ代表理事となる。2024年10月より公益財団法人かめのり財団の理事長に就任。